

## まっすぐ誠実に粘り強く

E-mail : yamatake@yamamoto-takeshi.net  
TEL : 090-9766-7645

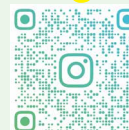
WEB・ブログ



facebook



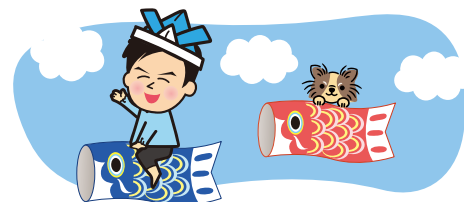
Instagram



X(旧Twitter)



市民クラブの山本たけしです。  
桜の季節も過ぎ、はや暦の上では春も終わり。過ぎゆく春を惜しみつつ、気づけば市議会議員の任期も残り1年となりました  
振り返れば、7年前の初当選(無競争)後、有権者の方から届いた1枚のハガキに書かれていたアフォリズム(格言)は、「政治屋は次の選挙を考え、政治家は次の時代のことを考える」。  
今もこの言葉を胸に置くところですが、2期目最後の年に入るにあたり、今一度肝に銘じて活動に邁進してまいる所存です。  
今回のニュースも市議会のトピックスや自身の一般質問を中心にご報告いたしますので、ぜひご覧ください。



### 令和8年第1回(3月)定例会が開催されました

今年最初の定例会は、2月25日から28日間の会期で開催され、令和8年度敦賀市一般会計予算案など、市長提出議案35件を可決し閉会しました。なお、私は市民クラブを代表し、同予算議案に対して委員長報告(原案に賛成)に賛成の立場で討論するとともに、代表質問に立ちました。  
※代表質問は年に1度、3月定例会で実施



### 提言 1 敦賀が目指す、まちの将来像は「世界とつながる高度交流都市」!

米澤市政誕生から3年。市長が掲げる「好循環のうねり」を生み出すため、人口減少対策を計画全体の政策課題に置き、各種施策を進めていると認識するところです。

一方で、この先20年、30年を見据えた敦賀の発展、まちづくりを考える上においては、まちの将来像を明確化し、市民と共有のもと、敦賀のイメージやブランド力を高めていく必要があると考え、私からは次の2点を提案しました。

#### ① “まちを表すネーミング”を「鉄道と港、科学のまち敦賀」に

今ある「鉄道と港のまち」を大事にした上で、付加価値をつける視点から、炉型が異なる4基の原子力発電所を有する“世界唯一”のまちであることや、今後「IT・情報通信企業を誘致」していくことを踏まえ、「科学」のワードを加えてはどうか。

#### ② “まちの将来像を表すコンセプト”は、「世界とつながる高度交流都市」に

歴史の転換点「北陸新幹線開業」で今後目指すべきは、交流人口、交流都市拡大につながる本州中央部の回遊拠点、「人道の港」で世界各国を結ぶ高度な交流都市ではないか。

なお、米澤市長からは、両提案に対して前向きな言葉があった上で、「統一したコンセプトやスローガンがあったほうが良いかということも含め、少し考えさせていただきたい」との答弁がありました。

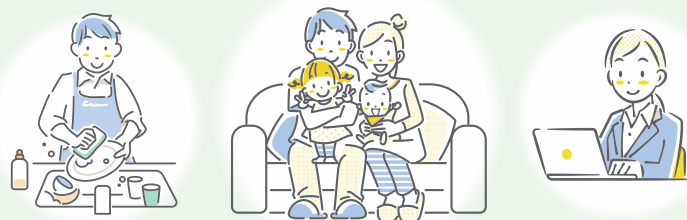


### 提言 2 科学的データに基づく「敦賀モデル」の人口減少対策を進化させよう!

米澤市政が進める人口減少対策(含む少子化対策)は、科学的根拠に基づいた考えにより計画されており、私からは同じく、各種調査結果等を踏まえた次の具体策を提案しました。

#### ① 「共家事」で働きやすい環境づくり

若者が理想とする「夫婦ともに働き続けられる環境」を実現するため、男性の家事・育児参画(共家事)を市全体で推進することや、企業の働き方を変えるウェブ診断の導入などを提案し、市からは前向きな回答がありました。



#### ② 持続的な賃上げと地場の中小企業支援

問題の根幹にある子育て世帯の経済的不安を解消するために不可欠な、地場中小企業の「持続的な賃上げ」に向け、適切な価格転嫁を促す「パートナーシップ構築宣言」の周知や企業の設備投資への行政支援などを要望しました。

#### ③ 誘致する企業等が望む人材の確保

地元定着につながる今後の企業誘致も睨み、佐賀県鳥栖市のIT人材確保策、石川県加賀市の「STEAM教育」の2つの例を挙げ、誘致する企業や分野が望む人材確保を戦略的かつ体系的にどう取り組んでいくかが重要と意見。教育長からは「デジタル社会に適応できる情報活用能力の高い人材の育成を図る」との答弁がありました。

結びに、科学的根拠を持って政策投資する「敦賀モデル」を進化、加速いただきたいと申し上げました。

### 提言 3 行政改革の根幹にある「人」を大切に、時代をとらえた人材育成を!

令和8年度末までを期間とする「敦賀市行財政改革指針(第7次)」を念頭に、まず財政運営に関しては、賃金上昇や物価高騰の構造的な変化が常態化していることを反映させることが、透明性、説明責任の観点からも適切な対応であるとし、**収入面について「今年度から算定方法等を変更した」との考えを確認**しました。

続いて、行政改革の根幹にある「人」に関し、以下意見しました。

#### ① AI・ロボット時代を見据えた人材育成

デジタル技術が急速に進む中、今後はAI、ロボット時代に対応した自治体現場人材の育成、活用が必要になると考え、敦賀市の人材育成戦略を確認したところ、市からは、新しい技術に挑むチャレンジ精神と課題改善力を備えた「基礎力とデジタルスキルを兼ね備えた人材」の育成に注力する方針が示されました。



#### ② 「人員削減」が独り歩きしないよう丁寧な対応を

今後5年で100人の人員減を見込む計画が報じられる一方、正職員、会計年度任用職員を問わず、**貴重な人材をいかに確保していくかという観点から、「人員削減」の言葉が“独り歩き”しないよう、市として職員に対し丁寧に説明していくべきと意見**したところ、米澤市長からは「必要に応じて職員組合等に説明を行うことも考えていきたい」との答弁がありました。

### 提言 4 文化芸術、歴史とスポーツの力で広げる「交流の輪」!

令和7年4月に設置されてから1年が経過する文化交流部について、これまで1年間の自己評価を伺った上で、今後の文化芸術・スポーツ振興に向けて質問しました。

#### ① 分野の枠を超えた「交流」を創出

教育委員会から市長部局へ移管されたことで期待される、分野を超えた交流について。例えば、包括連携協定を締結したプロスポーツチームの観戦を目的とした方に、本市の「人道の港」の歴史に基づく国際交流に関する取組についても知っていただくことができたりと、**観光、まちづくりの分野においても、歴史遺産や文化、交流の面で連携がしやすくなっていることを確認**しました。

#### ② 各団体等との連携を密に今後の事業展開を

これまで、私自身が伺っているご意見も踏まえ、芸術分野では市内アーティストの作品展示場所の確保、文化、歴史に関しては、文化財保存活用地域計画を今後どう生かしていくのか、スポーツ環境では時代やニーズに合わせた市総合運動公園利活用の見直しなどについて質問。**市からは、「関係する様々な団体等との連携を強化し、課題の解決を図っていききたい」との回答を得ました。**

心身の健康や生きがい、豊かな感性と創造性を育む文化芸術、スポーツの力は無限大。多様な「交流の輪」がますます広がることを期待いたします。



毎年多くの力作が出展される「敦賀市民文化祭」。敦賀の宝ともいえる多くの市民アーティストが活躍できることは、生活の質向上や魅力あるまちに通ずることであり、歴史やスポーツも同じこと。

### お知らせ

チャンネル登録をお願いします!



チャンネルはじめました!



活動の様子や議会のトピックスなどを配信していきます。



### 活動スナップ



2月13日

連合福井嶺南地域協議会の皆さんと「労働相談なんでも相談ダイヤル」街頭行動



毎週月曜朝は、栗野交番前での街頭演説、水曜朝は、名子でのあいさつ活動を継続中

### 「共家事」は、夫婦で、家族で、家事を一緒に楽しむスタイルです

提言2で触れました人口減少対策は、社会全体で取り組むものと考えるところ。

国立社会保障・人口問題研究所が2022年に実施した結婚と出産に関する全国調査「第16回出生動向基本調査」によれば、「結婚の意思」は30年前の9割水準にキープされているとある一方、**「結婚相手の条件」では、男性は女性の経済力を重視する、または考慮する、女性は男性の家事、育児の能力や姿勢を重視する割合が大きく上昇しているという結果が得られています。**

そうした点が、34歳までの若い世代

が最も理想とする、「子育て期も夫婦ともに仕事を辞めずずっと働き続けられる雇用環境」に通ずるものと納得。

それではと、代表質問で「共家事」を市全体で推進することを求めるにあたり、敦賀市HPに掲載の“やってみよう「家事見える化」チェックシート”を試みましたが、結果は…。

なお、チェックシートには、「共家事は、夫婦で、家族で、家事を一緒に楽しむスタイルです」とありました。

もしや、今の子育て世代の方にとっては当たり前のことかもしれませんが、「社会全体で」と申し上げた手前、もち

ろん私たち世代も積極的に。

**ニュースを読まれた男性方はぜひ、一緒に実践していきましょう!**

ちょっと、ひとこと。



共家事チェックはこちら

